

今年度もZOOMを活用した研修会等を計画しています。

子どもの発達支援を考えるSTの会主催のものは、**会員限定**となっております。

入会には運営委員会での承認が必要ですので、申込から2週間ほどお時間をいただきます。

あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

研修会についてのお問い合わせは st_seminar@kodomost.jp までお知らせください。

なお、計画は変更する場合がございます。また申込についてはグループウェアに掲載します。

(今年度末に、年間の研修会をまとめたページを新規に作成する予定です。)

最終更新日 2022/8/3

オンライン「語ろう会」

第1回

日時	2022年6月26日(日) 13:30~15:30 終了しました!
当日の様子 (研修委員より)	<p>本日6月26日に今年度初の「語ろう会」が開催されました。</p> <p>初めて参加!の方も、ほぼ毎回参加!の方もみられ、オンライン語ろう会の雰囲気がとても優しく楽しい時間だったな…と感じました。</p> <p>今回は3グループに分かれ、大きく次の内容で語り合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育関連 ・発達支援・連携関連 ・臨床業務関連 <p>時間いっぱい(足りないくらい!）、各グループで語り合い・情報の共有もし合いながらあつという間のお時間だったと思います。</p> <p>会終了後「アンケート」にも直ぐに回答いただき、本当にありがとうございます!</p> <p>参加された皆様のご感想から、特に印象深かったワードは、「連携」「ニーズ」「保育所等訪問」。</p> <p>その他にも、「何を言われるか分からないから怖い」という、少し胸が痛くなる…切実な声もある現場から、「傾聴する」こと等、各グループで、沢山の気づきや、改めて思い出すきっかけになった時間だったと思います。</p> <p>語ろう会は、経験年数や現場もさまざまなメンバー同士がちょっと聴いてみたい!聴いてほしい!教えてほしい!をふらっと立ち寄って語りながら励まし合う時間でもあると思います☆</p> <p>次回の「語ろう会」は年明け2月に開催されます!</p> <p>それまでの間にも、来月からオンライン研修会も盛りだくさんで計画しております!</p> <p>普段、なかなかお目にかかれない(!?)講師の方をお迎えいたしますので是非、研修会情報をチェックしてもらえたら嬉しいです。</p> <p>それでは、今年の夏はとても暑く、様々な変化もあると思いますがまずは、自身の健康第一で!</p> <p>そしてこれからも、それぞれの現場で「子ども達」を取り巻く環境に「ことばを育む」栄養補給をしていきましょう!!</p> <p>ご参加いただいた皆様。ありがとうございました!そして、こちらを読んでいただいた皆様。ありがとうございました!</p>

第2回	
日時	2023年2月12日（日）13:30～15:30 （申込期間 未定）
開催方法	ZOOM

全国研修会

オンライン研修会	
日時	2022年11月27日（日）時間は調整中
予定内容	上野一彦氏による講演会 会員からの報告（3人を予定）
開催方法	ZOOM

その他 研修会

オンライン研修会	
日時	2022年7月31日（日） 10:00～12:00 終了しました！
内容	群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科 岡野 由実氏 一側性難聴について

当日の様子
(研修委員より)

7月最終日、今年度初の「オンライン研修会」はオンデマンドでも配信されました。
今回、群馬パース大学リハビリテーション学部 言語聴覚学科 岡野由実先生より
「一側性難聴について～片耳難聴のある児への支援を考える～」が開催されました！
これまであまり取り上げられてこなかった今回の内容に、私自身、前のめりで視聴させて頂きました。

耳が2つあることのメリット…改めて、両側にある耳の存在とそのメリット…それは決して当たり前ではないことであり、「耳が一つだと困ること」については、日常生活での困り感および、補助金についても「片耳難聴」ゆえに自治体によっても差があるというお話もありました。

また、片耳難聴が子どもの発達に及ぼす影響や乳幼児の語彙発達について、これから日本でも研究が行われる流れにあるようですが、海外では「全員、言葉が遅れたり学業成績に影響を及ぼすかは個人差が大きい」と…

中川先生の「ことばを促すことばかけのヒント」は、やはり大事な関わりだ！ということも取り上げられていましたね。

「片耳難聴で困ること」はライフステージごとによって変わってゆく…だからこそ「セルフアドボカシー」の大切さを本人はもちろんのこと、一人でも多くの「大人」が真に理解し、子ども達と関わることで、片耳難聴のある子ども達のライフステージの変化の中、「自分の難聴を打ち明ける」ことに対してネガティブな感情が軽減されるだろうこともアンケート資料も介し、想像できました。

また、篠原さんからの質問コメントにも「障害がある自分をネガティブに捉えすぎないようにするための心の成長はとても重要だと思っています。」まさに。心に刺さる一言。

岡野先生の「ご家族にお願いしたいこと」に子ども達への関わり方について、熱い思いが集約されていました。

「とにかくご家族支援が大事！家庭内で自然な会話の中で難聴について話題にすること」

「100%子どもの味方」でいてあげること。

「難聴があっても堂々と人に言える子に育てってほしい」と。

そして、「子どもの意思を尊重して！」と強く伝えられていた岡野先生。それは、ご自身の中学時代のエピソード…「中学生の時に急に担任に難聴になったから席は今日からこねね…大人に言われて決められたことが何より一番嫌だった！」。だからこそ、先生の言葉はどれも心に響くのだとも思いました。

最後に「私たちの事を私たち抜きで決めないで (Nothing About us without us)」をスローガンにしている「障害者権利条約」ともリンクした私。忘れてはいけないことだと思います。

岡野先生、この度は貴重なお話を本当にありがとうございました。

	<p>今回、研修会に参加された皆様それぞれのアンケートからも素晴らしい「ご感想」があるかと思えます！それはまた後日、集計されますので、楽しみにしていただけたら嬉しいです。</p> <p>それでは、皆さま。 8月も、体調管理しつつ、深呼吸を忘れずに。 次回の研修会や、語ろう会で、お会いできればと思います。 ありがとうございました。</p>
開催方法	ZOOM

オンライン研修会	
日時	<p>2022年9月11日（日） 10：00～12：00 （申込期間 未定）</p>
予定内容	松江市立意東小学校 井上 賞子 氏による講演会
開催方法	ZOOM

子どもSTの会協力研修会

オンライン研修会	
日時	<p>2022年8月24日（水） 13：30～15：30 （申込期間 2022年7月1日～8月20日）</p> <p style="color: red;">会員外の方も参加可能です。</p>
研修会内容	岐阜県特別支援学校教育研究会への協力による 中川信子代表の講演会及びフォーラムディスカッション
詳細、申込みサイト	申込はこちらから
開催方法	Cisco社Webex 及び オンデマンド配信